

等

四

花園天

花園天皇ハ、第九十五代

平三年（貞和四御）

ニ佛法ノ奧秘ヲ知フ、

此ノ宸影ハ、寺傳ニ

迎ヘ拜セラレ、宸翰ヲ染メ

日東、ノ御製ヲ題シ給フ、頃



足利義輝畫像

足利義輝ハ、尊氏ヨリ十三代ニシテ、天文十五年征夷大將軍ニ任ズ、時ニ三好長慶權ヲ擅ニシ、義輝近江ニ逃レ、屢々戰ヲ交フ、永祿元年和ヲ講ジ、京都ニ還ル、八年五月、松永久秀、逆ヲ謀リ第ヲ襲フ、義輝奮戰シテ死ス、時ニ年三十、左大臣從一位ヲ贈ラル、

此ノ畫像ハ、石見益田ノ領主益田藤兼ガ、義輝ヲ欽仰シ、朝夕瞻拜ノ爲メニ畫カシメタルモノニシテ、原本ニハ永祿五年東福寺竺雲ノ賛アリ、威容端莊、其勇邁ナルヲ想見スベシ、



### 長曾我部元親畫像

長曾我部元親ハ、土佐ノ一隅ニ起リテ、四國ヲ征服ス、天正十三年、豊臣秀吉  
來リ討ツニ及ビ、元親抗戰ス、因テ三國ヲ削ラレ、土佐一國ヲ領ス、其後、九州  
ニ、小田原ニ、朝鮮ニ各戰功アリ、尤モ艦戰ヲ以テ著ル、從四位下少將土佐守  
ニ至ル、慶長四年五月十九日卒ス、年六十一、

此ノ畫像ハ、元親卒去ノ際、其子盛親ガ、畫工ニ命ジテ寫サシメタルモノニ  
シテ、原本ニハ南禪寺惟杏ノ贊アリ、中ニ、愛君愛國智過人、武勇名高率土濱  
ノ句アリ、善ク其人ヲ頌セリト云フベシ、



澤 菴 畫 像

澤菴、名ハ宗彭、但馬ノ人ナリ、山城大徳寺ニ入り、臨濟ノ宗風ヲ傳フ、公卿將士多ク之ニ歸依ス、後徳川家光ノ眷遇ヲ得テ、武藏品川ニ東海寺ヲ開創ス、正保二年十二月十日、夢ノ一字ヲ大書シテ寂ス、壽七十三、

此ノ畫像ハ、寛永十六年、宗彭ノ弟子宗印ガ、畫工ニ命ジテ寫サシメタルモノニシテ、原本ニハ、宗彭ノ賛アリ、其着スル所ノ衣ハ所謂紫衣ナリ、



伊藤仁齋畫像

第四高等學校圖書印

伊藤仁齋、名ハ維楨、通稱ハ源佐、仁齋ハ其號ナリ、寛永四年京都堀川ニ生ル、夙ニ心ヲ程朱ノ學ニ潜ム、後其說ヲ疑ヒテ、沈吟年ヲ閲シ、大ニ得ル所アリ、遂ニ古學ヲ倡導ス、是ヨリ門戸ヲ開イテ、生徒ニ教授スルコト四十餘年、温順寛厚ノ資ヲ以テ、善ク諸生ヲ導ク、四方ノ學徒其門ニ滿ツ、謁ヲ求ムルモノ凡三千餘人、所謂堀川派ノ名聲天下ヲ壓セリ、寶永二年歿ス、年七十九、明治四十年正四位ヲ贈ラル、

此ノ畫像ノ原本ハ、遠孫伊藤孝彥氏ノ所藏ニカ、ル、筆致簡略ナリト雖モ、寫生ナルモノ、如ク、風貌躍如トシテ、面タリ其人ニ接スルノ感アリ、肖像畫ノ最モ上乘ナルモノトス、



吉田松陰畫像

吉田松陰、名ハ矩方、通稱寅次郎、松陰ハ其號ニシテ長門藩士ナリ、少時ヨリ門戸ヲ開キテ後進ヲ誘掖シ、夙ニ時勢ヲ達觀シテ、心ヲ海外ニ用ヒ、米艦ニ投ゼントシテ成ラズ、マタ勤王ノ志篤クシテ、尊攘ノ大義ヲ唱ヘ志士ト事ヲ舉ゲントシ幕府ノ忌ムトコロトナリテ、安政六年斬ニ處セラル、時二年三十、明治廿二年正四位ヲ贈ラル、

此ノ畫像ハ、安政五年松陰藩地ヨリ江戸ニ檻致セララル、ニ際シ、門人松浦松洞ノ描キタルモノニ自ラ賛ヲ加ヘタル<sup>八</sup>幅ノ一ナリ、



### 末吉船ノ圖

此ノ圖ハ、大坂ノ商人末吉孫左衛門ガ、南洋貿易ニ從事セルトキ、航海安全ノ祈願報賽ノ爲メ、其ノ船ヲ畫キテ、京都清水寺ニ奉納セル扁額三面ノ一ナリ、孫左衛門ハ、名ヲ吉康トイヒ、勘兵衛利高ノ子ナリ、勘兵衛ハ、徳川家康ニ仕ヘ、舟航及銀座ノ事ヲ司リ、孫左衛門ハ大坂ニ住シ、盛ニ南洋貿易ニ從ヒ、慶長元和寛永ノ頃、屢々呂宋東京等ニ渡航セリ、圖中、御朱印船ノ構造等ヲ知ルベキノミナラズ、三味線、骨牌、雙六、煙草盆、煙管等、當時ノ風俗ヲ見ルベキモノ少カラズ、南洋土人ノ勞役ニ服セルガ如キ、マタ注意スベシ、文字ノ中ニ、宿坊執行トアルハ、清水寺ノ執行即寺務所ヲ以テ、取次トスルノ意ナリ、



### 明治天皇御即位式ノ圖

此ノ圖ハ、明治天皇ガ、慶應四年八月二十七日(九月八日明治ト改元ス)ヲ以テ、京都御所ナル紫宸殿ニ行ハセラレタル御即位式ニシテ、外辨上席ノ者壽詞ヲ奏スルトコロナリ、

此ノ御即位式ハ、上古ノ禮典ニ基キ、従前ノ儀節ヲ參酌シテ新ニ制定セラレタルモノナリ、従前ハ、唐風ノ旗ヲ立テタリシヲ、日本風ノ旗ニ改メテ大幣旗日月幣旗等ヲ造ラレ、參列ノ諸員ノ中ニハ、唐制ノ禮服ヲ着シタルモノモアリシガ、之ヲ改メテ東帶衣冠等ヲ用ヒシメラレタリ、而シテ庭上ノ中央ニ大地球儀ヲ置カレタルガ如キハ、尤モ新儀ニ屬スルモノナリ、



「ペリー」横濱上陸ノ圖

此ノ圖ハ、米利堅人應接之圖ト題セル卷物ノ一部分ニシテ、安政元年二月十日米國水師提督「ペリー」ガ、我應接吏林大學頭耀等ニ面接セシガ爲メニ、初メテ横濱村ニ上陸セシ狀況ヲ畫ケルモノナリ、當時横濱村ハ、一小漁村ニシテ、現今殷賑ナル市街ハ、概ネ田畝溝渠ノ地ナリシガ、此處ニ假小屋ヲ建テテ、臨時ノ應接場トシ、小倉松代ニ藩士ハ陸上ヲ、鳥取藩士ハ海上ヲ警衛セリ、「ペリー」ハ、幕僚士卒等五百餘人ヲ率井、短艇二十八隻ニ乘リテ上陸シ、其ノ際短艇ニ備ヘタル大砲ニテ、將軍及ビ林ニ對シテ祝砲ヲ放タシメタリ、時ニ、我士卒ノ訓練完カラズ、又銃槍各々、隊ヲ異ニセル制度ナリシカバ、彼ノ隊伍ノ秩序整然トシテ、進退節度アルト銃槍ヲ兼ネタル劔付鐵炮トヲ見テ、皆大ニ感歎セリトイフ、